2024年度 日南看護専門学校　　R6. 11. 5 (火) 実施

老年看護方法論2 (佐伯先生)

健康段階に応じた高齢者の看護

テスト問題

番号 2321 名前

問1 急性期の高齢者に対するフィジカルアセスメントで誤っているものを選べ。[2 点]

① 初診時のフィジカルアセスメントは、若年者、高齢者関係なく全身の情報を得るために実施する。

② 高齢者の外来受診時、他の受診患者とのトラブルを避けるため、問診でどんな状態であっても、受診順番通りに診察を行う。

③ 入院中の継続したフィジカルアセスメントは、焦点を絞って実施されるが、高齢者特有の身体機能の低下などを考慮して観察する必要がある。

④ 問診、視診、触診、打診、聴診の順に実施することがよいとされているが、疼痛や腸管の動きに影響を与えないように、聴診、触診、打診の順に変更しても問題ない。

問2 手術を受けた高齢患者の特性で誤っているものを選べ。[2 点]

① 入院、手術後と転室など環境の変化があるため、せん妄を起こしやすい。

② 夜間の疼痛により不眠になると、日中昼寝をすることとなり、せん妄を起こしやすくなる。

③ 日中開眼して過ごすことが多く、食事中にそわそわしていてもせん妄でない。

④ 高齢者は、手術による侵襲や麻酔の影響でせん妄をおこしやすい。

問3 術後の高齢患者の離床遅延の原因で誤っているものを選べ。[2 点]

① 高齢になるほど著明になる、身体能力や予備力の個人差。

② 心疾患による身体機能が低下。

③ 毎日、決まった時間に面会に来る家族。

④ 理解力の低下、せん妄の出現による身体拘束。

問4 大腿骨転子部骨折の骨接合術後の高齢患者の看護で正しいものを選べ。[2 点]

① 創部疼痛があるため、頓用の鎮痛剤を服用させ、直後に車椅子へ移乗した。

② 創部疼痛があるため、術後 2 日目のリハビリは床上リハビリとした。

③ 創部疼痛があるため、リハビリ 30 分前に頓用の鎮痛剤を服用させた。

④ 創部疼痛が強く、術後 7 日目だったが、看護師 3 人で、全介助でリクライニング車椅子へ移乗させた。

問5　高血圧、糖尿病のある術後の高齢患者の看護で誤っているものを選べ。[2 点]

① 食事量が毎食 7 割程度と少ないため、饅頭やつくだ煮の差し入れを許可した。
② 食事量が毎食 3 割程度と少ないため、NST 委員会へ相談した。
③ 血糖値が68㎎/dl となり、低血糖症状がみられるためブドウ糖を服用後、医師へ報告した。
④ 朝の血圧が 88/46 ㎜ Hg だったため、朝食後の降圧剤服用を中止し、医師へ報告した。

問6　大腿骨人工骨頭挿入術後の高齢患者の看護で正しいものを選べ。[2 点]

① 右大腿骨頸部骨折なので、術後の硬膜外麻酔刺入部の確認は右側外で実施した。
② 術後せん妄が出現したが、静かに寝ているため、危険がないと判断し抑制を解除した。
③ 手術当日の夜、意識レベルは清明だったが、高齢でありせん妄出現を予測し上肢を抑制した。
④ 創部が左のため、離床はベッドの右からできるように病室を調整した。

問 7　次の廃用症候群の説明で誤っている物を選べ。[2 点]

① 廃用症候群は「身体の不活動状態により生ずる二次的障害」として体系化された概念ではない。
② 廃用症候群の要因は，主に内的(一次的)要因と外的(二次的)要因とに分類される。
③ 廃用症候群の症候は、筋骨格系、循環・呼吸器系、内分泌・代謝系、精神神経系　など各臓器の症状として多岐に現れ、日常生活自立度を低下させる。

問 8 高齢者の看護で忘れてはいけない視点について、(　　)内の正しい言葉を、下記の語群より選べ。[3 点]

1)（ ① ）を必要とする高齢者なのか？
2) 障害とともに生きる高齢者なのか？
3)（ ② ）にある高齢者なのか？
4) 健康増進や（ ③ ）に励む高齢者なのか？
5)（ ④ ）な扱いを受けている高齢者なのか？

人生の晩年	加療	差別的	結果	介護支援
人生の終焉	治療	虐待	支援	介護予防

以上、お疲れ様でした。

2024年度　日南看護専門学校　　R6. 11. 5 (火) 実施　　(佐伯先生)
老年看護方法論２

健康段階に応じた高齢者の看護テスト問題

解答用紙

40

番号　2321　名前

問	回答欄
問１	②
問２	③
問３	③
問４	③
問５	①
問６	④
問７	①

問8	回答欄
①	治療
②	人生の晩年
③	介護予防
④	着別的